

イオン照射研究施設等利用管理支援業務  
総合評価基準書

## 1. 入札価格の評価方法

入札価格の評価については、次のとおりとする。

入札価格の得点は、入札価格を予定価格で除して得た値を1から減じて得た値に入札価格に対する得点配分を乗じて得た値とする。

$$\text{入札価格点} = \text{価格点の配分} \times (1 - \text{入札価格} \div \text{予定価格})$$

## 2. 技術等の評価方法

入札に係る技術等の評価は、仕様書、別紙1「評価項目及び得点配分」に基づき以下のとおり評価を行う。なお、仕様書及び評価基準に記載されていない技術等は評価の対象としない。

(1)「仕様書」に記載する技術的要件は、別紙1「評価項目及び得点配分」において「必須審査項目」と「加点審査項目」とに区分して定めている。このうち、全ての「必須審査項目」が満たされているか否かの判定をし、これを満たしていない者は不合格とする。

### (2) 必須審査項目

「必須審査項目」に係る技術等については、各要求要件について示す評価基準を満たしているか否かを判断し、これを満たしている者には評価基準に基づき基礎点を与える。

### (3) 加点審査項目

「必須以外審査項目」に係る技術等については、評価項目毎に要求要件を示し、評価に応じ評価基準を示す加点の点数の範囲内で得点を与える。

(4)仕様書に記載する技術等の要求要件（以下、「技術的要件」という。）を満たしているか否かの判定及び評価基準に基づき付与する得点の判定は、原子力機構が設置する技術審査会の審査委員によって提出された総合評価に関する書類の内容を審査して行う。

(5)技術審査会の各審査員が評価した合計の得点を平均したものを当該入札者の得点とする。

(6)技術等の評価に当たり、必要に応じて技術審査会によるヒアリングを実施する。

## 3. 得点配分

区分	価格点	技術点	合計
配点	170	170	340

## 4. 総合評価の方法

(1)入札価格及び技術等の総合評価は、次の各要件に該当する入札者のうち、1.の入札価格の評価方法により得られた入札価格の得点に2.技術等の評価方法により得られた当該入札者の申込みに係る技術等の各評価項目の得点の合計を加えて得た数値をもって行い、当該数値の最も高い者を落札者とする。

① 予定価格の制限の範囲内の入札価格を提示した者であること。

② 入札に係る技術等が仕様書で規定する技術的要件のうち必須とした要求要件を全て満たしている技術等を提案した者であること。

(2)初回の入札において入札参加者がなかった場合、必須項目を全て満たす入札参加者がなかった場合又は再度の入札を行っても、なお、落札者が決定しなかった場合は、原則として入札条件等を見直した後、再度公告を行う。

(3)落札者となるべき者が2者以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。また、入札者又は代理人がくじを引くことができないときは、入札事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

## 5. その他

落札者は、契約の履行にあたり、契約書（契約条項・仕様書を含む）及び総合評価を受けた技術提案書等を順守すること。

「イオン照射研究施設等利用管理支援業務」  
技術提案書等作成要領

1. 技術提案書等の作成について

(1) 技術提案書

本請負作業を実施するに当たって別紙2の技術提案書を提出してください。技術提案書の構成は総合評価基準に基づく要求項目ごとに分かりやすくまとめてください。

(2) 技術証明項目に関する資料

以下の事項に留意して資料を作成してください。

放射線施設の管理区域の保守、管理を実施している施設名を示してください。また、放射線発生装置の管理区域の保守、管理経験の経験があれば加点します。施設名を明確に記載してください。

本請負作業を実施するための体制を示してください。体制については、効果的な人員体制となっていれば加点しますので、総括責任者の常駐の有無及び総括責任者が明確に分かるように記載してください。

証明書の写し、履歴書等を提出してください。

上記(1)及び(2)資料をそれぞれ10部ずつ、定められた期日までに契約担当課に提出してください。なお、この資料は総合評価基準に示す要求要件を満たす必要がありますので御注意ください。また、資料の作成にあたっては、原則A4サイズとし、A4サイズでは示すことが不可能な場合はA3サイズを用いてA4サイズに折り込むなど、A4サイズに統一してください。

2. 技術審査ヒアリング

「1. 技術提案書等の作成について」に示す資料に用いて、技術審査会ヒアリング（プレゼンテーション）をお願いする場合があります。審査に当たっては、総合評価基準に基づき採点することになります。なお、技術審査会ヒアリングを開催する場合は別途ご連絡いたします。

「イオン照射研究施設等利用管理支援業務」  
評価項目及び得点配分

◎は必須審査項目  
○は必須以外審査項目

項番/評価項目	要求要件	評価基準	基礎点	加点	備考
1 事業者の信頼性に関する事項					
①◎原子力関連施設に関する関係法令の知識を有していること。	放射線取扱主任者資格を有していること又は放射線業務従事者の経験を有していることを確認することをもって、関係法令の知識を有すると判断する。	40 点			標準人員5名が関係法令の知識を持っていること。
②○ 法人として、放射線施設の管理区域の保守、管理の実績（過去10年間に1年以上の経験）を有している場合加点する。		-	10 点		1年以上の経験がある場合：10点
③○ 法人として、放射線発生装置の管理区域の保守、管理の実績（過去10年間に1年以上の経験）を有している場合、加点する。		-	10 点		1年以上の経験がある場合：10点
2 業務の実施体制に関する事項					
①◎業務開始前までに放射線業務従事者3名以上の指定登録を機構に行い、管理区域内作業が確実にできること。	左記の要求仕様を満たす提案がなされていること。	40 点			標準人員5名中3名以上の放射線業務従事者登録を行う場合
②○効果的な人員体制となっていれば加点する。		-	10 点		専任の総括責任者を立てる場合：加点10点
③○専門知識を有する業務担当者を実施体制に組み入れることが望ましい。	次のいずれかに該当する能力を有する業務担当者を体制に組み入れている場合に加点する。 イ. 第1種放射線取扱主任者 ロ. 第2種放射線取扱主任者 ハ. X線作業主任者 (技術提案書には該当能力を有することを客観的に示す資格証明書を記載すること)	-	10 点		業務担当者、1名の資格に加点（最大5名まで合計10点） ・イ：2点 ・ロ：1点 ・ハ：1点 ただし、上位の資格所有の場合は下位の資格は加点しない。 資格順イ>ロ>ハ
3 業務実施方法の妥当性に関する事項					
① ○本業務の実施方法について追加提案をすることが望ましい。更なる業務の安全化、安定化、効率化等、本業務の質の向上に資するための以下のような改善提案を行う場合に加点する。 1) 機構内実験課題募集、機構内実験計画書募集等に関する業務： 効率的な集約等についての提案 2) 施設共用課題審査委員会等の開催に関する業務： 効率的な連絡体制等に関する提案 3) 実験装置及び実験室等の運転・保守・管理業務： 更なる安全を確保し装置の安定運転を実現するための提案 4) R I 使用施設の保守・管理及びR I 等の管理業務： 確実に保守管理を実施し更なる合理性を実現するための提案 5) 施設共用における技術支援業務： 確実な支援体制等についての提案 6) 外部実験者の窓口・受入等に関する業務： TIARA保安講習の効率的な実施を行うための提案及び効率的な連絡体制に関する提案 7) 研究成果の発表・普及等に関する業務： 迅速な年報発行等についての提案			50 点		提案状況に応じ加点する 大変優れている：50点 優れている：235点 やや優れている：20点 普通：10点 劣る：0点
必須審査項目の合計			80 点		
加点審査項目の合計				90 点	
合計（必須＋加点）				170 点	

「イオン照射研究施設等利用管理支援業務」  
技術提案書

1 事業者の信頼性に関する事項				
要求要件	受注者記入	機構記入		備考
	要求記入内容	採点結果	採点結果	
◎原子力関連施設に関する関係法令の知識を有していること。	放射線取扱主任者資格を有していること又は放射線業務従事者の経験を有していることを確認することをもって、関係法令の知識を有していると判断するので、これらを証明する書類を提出すること（標準人員5名分）	/40		5名以上の証明事項が確認された場合：40点
○ 法人として、放射線施設の管理区域の保守、管理の実績。 (過去10年間に1年以上の経験)	・施設名 ○○○○事業所○○施設 ・契約期間または実施期間 年 月～ 年 月 *主な経験先を記載してください。 *上記を証明する書類の写しを提出	-	/10	1年以上の経験がある場合：10点
○法人として、放射線発生装置の管理区域の保守、管理の実績。 (過去10年間に1年以上の経験)	・施設名 ○○○○事業所 ○○施設 ・放射線発生装置の型式 ○○○○型 ・契約期間または実施期間 年 月～ 年 月 *主な経験先を記載してください。 *上記を証明する書類の写しを提出	-	/10	1年以上の経験がある場合：10点
2 業務の実施体制に関する事項				
◎業務開始前までに放射線業務従事者3名以上の指定登録を機構に行い、管理区域内作業が確実にこなすこと。	業務担当者名 氏名 ○○ ○○	/40	-	3名以上の放射線業務従事者登録を行う場 ：40点
	業務担当者名 氏名 ○○ ○○			
	業務担当者名 氏名 ○○ ○○			
	業務担当者名 氏名 ○○ ○○			
	業務担当者名 氏名 ○○ ○○			
○効果的な人員体制	専任総括責任者 <input type="checkbox"/> 氏名	-	/10	専任の総括責任者を立てる場合：10点

<p>②○専門知識を有する業務担当者を実施体制に組み入れることが望ましい。</p>	<p>業務担当者 氏名 ○○ ○○  有資格 イ. 第1種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ロ. 第2種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ハ. X線作業責任者 <input type="checkbox"/>  * 資格証明の写しを提出</p> <hr/> <p>業務担当者名 氏名 ○○ ○○  有資格 イ. 第1種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ロ. 第2種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ハ. X線作業責任者 <input type="checkbox"/>  * 資格証明の写しを提出</p> <hr/> <p>業務担当者名 氏名 ○○ ○○  有資格 イ. 第1種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ロ. 第2種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ハ. X線作業責任者 <input type="checkbox"/>  * 資格証明の写しを提出</p> <hr/> <p>業務担当者名 氏名 ○○ ○○  有資格 イ. 第1種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ロ. 第2種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ハ. X線作業責任者 <input type="checkbox"/>  * 資格証明の写しを提出</p> <hr/> <p>業務担当者名 氏名 ○○ ○○  有資格 イ. 第1種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ロ. 第2種放射線取扱主任者 <input type="checkbox"/>                ハ. X線作業責任者 <input type="checkbox"/>  * 資格証明の写しを提出</p>	-	/10	<p>業務担当者、1名の資格に加点（最大5名まで合計10点）  ・イ : 2点  ・ロ : 1点  ・ハ : 1点  ただし、上位の資格所有の場合は下位の資格は加点しない。  資格順イ&gt;ロ&gt;ハ</p>
3. 業務実施方法の妥当性に関する事項				
<p>①○本業務の実施方法について追加提案をすることが望ましい。  更なる業務の安全化、安定化、効率化等、本業務の質の向上に資するための以下のような改善提案を行うこと。  1) 機構内実験課題募集、機構内実験計画書募集等に関する業務：効率的な集約等についての提案  2) 施設共用課題審査委員会等の開催に関する業務：効率的な連絡体制等に関する提案  3) 実験装置及び実験室等の運転・保守・管理業務：更なる安全を確保し装置の安定運転を実現するための提案  4) R I 使用施設の保守・管理及びR I 等の管理業務：確実に保守管理を実施し更なる合理性を実現するための提案  5) 施設共用における技術支援業務：確実な支援体制等についての提案  6) 外部実験者の窓口・受入等に関する業務：TIARA保安講習の効率的な実施を行うための提案及び効率的な連絡体制に関する提案  7) 研究成果の発表・普及等に関する業務：迅速な年報発行等についての提案  8) 本業務におけるペーパーレス化についての提案</p>	<p>業務提案書をご提出ください。</p>		/50	<p>提案状況に応じ加点する  大変優れている : 50点  優れている : 235点  やや優れている : 20点  普通 : 10点  劣る : 0点</p>